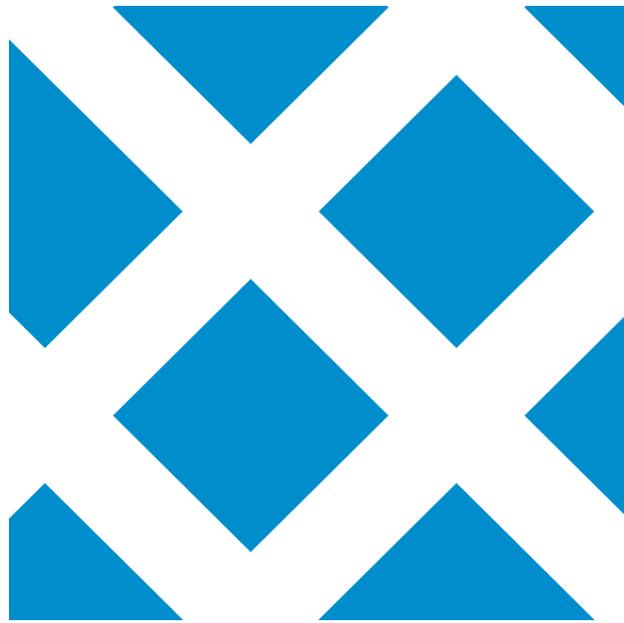


教育委員会事務の点検・評価報告書

(平成30年度)



令和元年9月
萩市教育委員会

■ 目 次

1	教育委員会事務の点検及び評価の趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	2
4	点検及び評価の結果	3
	<事業点検・評価シート>	
No.1	ふるさと萩への誇りと志の育成	3
No.2	学力の向上	5
No.3	豊かな心の育成	7
No.4	健やかな体の育成	10
No.5	地域コミュニティの核としての学校づくり	11
No.6	教育の専門家としての教師の育成	13
No.7	特色ある学校づくりの推進	14
No.8	教育環境の整備	16
No.9	生涯学習の基礎づくり	19
No.10	生涯学習の場と人づくり	21
No.11	生涯学習によるまちづくり	23
No.12	生涯スポーツの推進	25
No.13	競技水準の向上及び人材の育成	27
No.14	スポーツの推進による地域の活性化	28
No.15	図書館運営を通じた官民協働及び読書活動の推進	30
No.16	家庭・地域・学校・図書館での子どもの読書活動の推進	32
No.17	子どもの読書活動推進のための環境整備及び推進者への支援	34
No.18	読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動	36

1 教育委員会事務の点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められています。

萩市教育委員会では、当該規定に従い、事務の点検及び評価を実施し、本報告書を作成しました。

2 点検及び評価の対象

次に掲げる事項を平成30年度の点検及び評価の対象として選定しました。

- (1) ふるさと萩への誇りと志の育成
- (2) 学力の向上
- (3) 豊かな心の育成
- (4) 健やかな体の育成
- (5) 地域コミュニティの核としての学校づくり
- (6) 教育の専門家としての教師の育成
- (7) 特色ある学校づくりの推進
- (8) 教育環境の整備
- (9) 生涯学習の基礎づくり
- (10) 生涯学習の場と人づくり
- (11) 生涯学習によるまちづくり
- (12) 生涯スポーツの推進
- (13) 競技水準の向上及び人材の育成
- (14) スポーツの推進による地域の活性化
- (15) 図書館運営を通じた官民協働及び読書活動の推進
- (16) 家庭・地域・学校・図書館での子どもの読書活動の推進
- (17) 子どもの読書活動推進のための環境整備及び推進者への支援
- (18) 読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動

3 点検及び評価の方法

前項に掲げる事項について、点検・評価シートにより、各項目の実施状況に係る成果を検証し、今後の取組について検討しました。

また、点検及び評価の実施にあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、萩市ひとりづくり構想推進委員会において、意見をいただきました。

4 点検及び評価の結果

平成30年度 点検・評価シート

NO. 1

項目	ふるさと萩への誇りと志の育成	担当課	学校教育課
目的・目標	学校、家庭、地域、産業界等が連携した志教育を推進し、主体的に自らの未来を切りひらくとともに、郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する子どもを育成する。		
実施状況・成果	<p>1 萩・農下村塾事業</p> <p>農業体験・職業講話の実施率100%（目標値：100%）</p> <p>地域の農事組合法人等と連携して田植え、稲刈り等の体験を実施したほか、地域に誇りと愛着を持って働く人々と接することで、萩を誇りに思う心情の育成に努めた。</p> <p>2 13歳 志プロジェクト事業</p> <p>(1) 1／2成人式及び立志式の実施率100%（目標値：100%）</p> <p>(2) 小学校における職場見学の実施率100%</p> <p>小学校における職場体験の実施率42%</p> <p>中学校における職場体験の実施率100%</p> <p>(3) 将来の夢や目標を持つ児童生徒の割合の向上</p> <p>全国学力・学習状況調査において、将来の夢や目標を持っているかの問いに、当てはまる又はどちらかといえば当てはまると回答した児童生徒の割合</p> <p>① 小学校87.1%（前年度86.4%・全国平均85.1%）</p> <p>② 中学校84.3%（前年度77.7%・全国平均72.4%）</p> <p>3 松陰教学推進事業</p> <p>副読本の活用率100%（目標値：100%）</p> <p>副読本の配布実績 小学3年生「わたしたちのふるさと萩」</p> <p>小学4年生「松陰読本」</p> <p>中学1年生「郷土 萩」</p> <p>4 萩・お宝活用プロジェクト事業</p> <p>プロジェクトの実施率100%（目標値：90%）</p> <p>施設見学実績 ① 萩博物館 25校</p> <p>② 萩・明倫学舎 8校</p> <p>③ 世界遺産関連地 6校</p> <p>④ ジオパーク関連地 11校</p> <p>⑤ 山口県立萩美術館・浦上記念館 12校</p>		

	<p style="text-align: center;">⑥ その他 5校</p> <p>5 長州ファイブジュニア派遣事業</p> <p>派遣生徒及び保護者の満足度100%（目標値：100%）</p> <p>英国内の長州ファイブゆかりの地への訪問により、郷土を愛し、郷土に貢献する意識及び豊かな国際感覚の醸成を図った。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 萩・農下村塾事業</p> <p>各地域の特色を考慮した活動となるよう、各校の意見を参考にしながら、具体的な取組について、改善を図る。</p> <p>2 13歳 志プロジェクト事業</p> <p>子どもの成長を地域とのつながりの中で支えられるよう、保護者や地域に開かれた1/2成人式及び立志式を推進する。</p> <p>3 松陰教学推進事業</p> <p>社会科又は総合的な学習における副読本の活用により、萩を愛し、誇りに思う心情を育てる。</p> <p>4 萩・お宝活用プロジェクト事業</p> <p>世界遺産をはじめ、萩の自然、歴史、文化等について事前学習を十分に行い、多くの現地を訪問することで、学習効果の向上を図るとともに、ジオパーク関連地を活用し、地形、地質等の観点からの学習を積極的に導入する。</p> <p>5 長州ファイブジュニア派遣事業</p> <p>引き続き、豊かな国際感覚を持ち、グローバルな視点で行動できる人材の育成を図る。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農下村塾事業の農業体験については、田植え体験で終えるのではなく、事前に食に要する労力、命を育てる意味等を学ぶことにより、より意義深い学習とすることができるとは思わないか。 ・農業体験だけではなく、漁業や萩にしかないもの、萩ならではのものに係る取組を経験させることも検討されたい。 ・萩市の良いところを発見する取組は充実しているが、萩市の問題点や課題を子どもたちに見せ、子どもたちがどう考えるか、解決するためにどうすべきか検討させるような取組があれば、より良いと思う。 ・職場見学及び職場体験に当たっては、表面的な内容に終始せず、日常的に目にすることができないような職業（例えば商品の仕入れ等店舗の経営改善に関わる業種等）や、同業種でも経営方針の違う経営者を比較的に見せることで、子どもたちが「課題を見つけ、改善策を考える」活動につながると思う。

項目	学力の向上	担当課	学校教育課
目的・目標	各小中学校における学力向上の取組の工夫改善及び充実を図るとともに、小中連携、小小連携及び中中連携並びに保護者及び地域との協働により、児童生徒に確かな学力をつけさせる。		
実施状況・成果	<p>1 確かな学力育成事業</p> <p>(1) 中学校における毎時間の授業評価実施率3%（目標値：100%） 多くの学校が、毎時間ではなく、学習のまとまりで評価を実施した。</p> <p>(2) 学校運営協議会委員参加の授業改善への取組率96%（目標値：80%） 参観日、校内授業研究会等を活用し、学校運営協議会委員の授業参観を実施した。</p> <p>(3) PDCAサイクルに基づく授業改善への取組率100%（目標値：100%）</p> <p>(4) 全教員の年間2回以上の授業公開の実施率100%（目標値：100%）</p> <p>(5) 全国学力・学習状況調査における各教科の平均正答率が、全国平均より3%以上高い学校の割合（目標値：80%以上）</p> <p>① 小学校26.3%（前年度36.8%）</p> <p>② 中学校35.7%（前年度71.4%）</p> <p>(6) 全国学力・学習状況調査における各教科の正答率</p> <p>※（ ）内は、全国平均正答率</p> <p>① 小学校 国語A71%（70.7%） 国語B60%（54.7%） 算数A63%（63.5%） 算数B51%（51.5%） 理科64%（51.5%）</p> <p>② 中学校 国語A78%（76.1%） 国語B64%（61.2%） 算数A69%（66.1%） 算数B49%（46.9%） 理科69%（66.1%）</p> <p>2 学校支援事業</p> <p>(1) 萩市学校教育研究発表大会における参加者の満足度の向上を図る。 基調講演における具体的な取組事例の紹介等により、有益な研修となった。</p> <p>(2) チェックリストによる授業改善の実施率100%（目標値：100%）</p> <p>(3) 外国語活動及び英語科教育の充実</p> <p>① ALT6名を市内全小中学校に派遣するとともに、英語学習指導員1名を市内中学校に配置した。</p>		

	<p>② 中学生の英検 3 級以上の受験に係る受験料について、全額補助を実施した。</p> <p>③ 英検受験予定者を対象に、夏休み英語教室を全中学校で開催した。</p> <p>(4) へき地における複式教育の充実</p> <p>複式学習指導員による学校訪問及び指導助言並びに複式指導サポートブック実践編の作成及び配付を実施した。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 確かな学力育成事業</p> <p>(1) 授業評価について、適切に実施されるよう全小中学校に周知を図る。</p> <p>(2) 全国学力・学習状況調査等の結果について、誤答分析を行い、児童生徒の課題を把握するとともに、当該分析結果を授業改善に生かす取組を進める。</p> <p>(3) 英検の受験勸奨に取り組むなど、英語への関心及び意欲の向上に努める。</p> <p>2 学校支援事業</p> <p>(1) 萩市学校教育研究発表大会の内容の充実を図るとともに、多くの保護者、学校運営協議会委員、地域住民等の参加に努める。</p> <p>(2) 佐々並小学校及び明木小学校でのテレビ会議システムによる遠隔合同授業の実証研究の成果を踏まえ、今後、他の中山間地や離島の小規模校への拡充を検討する。</p> <p>(3) 引き続き複式学習指導員による学校訪問及び指導助言を行う。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐々並小学校と明木小学校の遠隔合同授業は、良い取組であり、両校の子どもたちの交流もできるので、継続して実施してほしい。また、小規模校に通う子どもが大規模校の授業や児童生徒の様子を知る機会となるよう、大規模校と小規模校の間でも実施できるよう検討してほしい。 ・ 学力向上を図るためには、家庭学習が重要であると思う。今後は、家庭学習に関する点検・評価項目を取り入れ、具体的な取組を進められると良いと思う。 ・ 学力の比較的低い児童生徒に対する底上げはできていると思うが、一方で、学校での学習が物足りないような、学力の比較的高い児童生徒を更に伸ばすような体制・取組を検討してほしい。

項目	豊かな心の育成	担当課	学校教育課
目的・目標	自他の良さを認め合い、他人を思いやる優しい心を持った子どもを育成する。また、いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題の未然防止を図るとともに、問題を抱えた児童生徒及び保護者に対して、共に悩み、寄り添う支援を行う。		
実施状況・成果	<p>1 生きる力を持った子ども育成事業</p> <p>(1) チャレンジ目標の設定及び学校評価への位置づけ実施率100% (目標値: 100%)</p> <p>各学校は設定したチャレンジ目標の達成のため、学校評価への位置づけ及び具体的な数値目標の設定を行い、PDCAサイクルによる検証を実施した。</p> <p>(2) 週1回のアンケートの実施率100% (目標値: 100%)</p> <p>週1回以上の生活アンケートにより、困っている子どもの早期発見に努めるとともに、アンケート結果については、学校と教育委員会が情報共有した。</p> <p>2 スクールガードリーダー設置事業</p> <p>(1) 登下校時における無事故の学校の割合91% (目標値: 80%)</p> <p>(2) 3名のスクールガードリーダーを配置し、全小中学校へ派遣した (各校平均4回)。学校の安全管理に係る指導助言、学校内外のパトロール、通学路の安全点検、防犯・災害避難訓練の講師等に従事し、事件事故の未然防止に努めた。</p> <p>3 子ども相談・支援室事業</p> <p>(1) 小中学校の生徒指導上の諸課題の解決等のため、子どもに関わる相談や支援の充実に努めた。いじめに関しては早期にスクールカウンセラーを派遣し、ケース会議を開いた。不登校に関しては萩輝きスクールにより、教室復帰を目指す児童生徒を、経験豊富な7名の支援員が支援するとともに、保健師、児童相談所の心理士、医療機関等と連携し、不登校の子どもの家族の支援に当たった。</p> <p>(2) いじめ、不登校及び暴力行為の状況</p> <p>※数値は、児童生徒100人当たりの件数、()内は前年度</p> <p>① いじめ 小学校 2.59 (1.65) 中学校 4.22 (4.90)</p> <p>② 不登校 小学校 0.48 (0.31) 中学校 2.51 (1.06)</p> <p>③ 暴力行為 小学校 1.06 (0.10) 中学校 3.12 (0.96)</p> <p>(3) いじめについては、小学校で49件、中学校で42件認知されたが、全職員が組織的に対応し、ほぼ解消している。</p> <p>※ 前年度件数: 小学校32件、中学校51件</p>		

	<p>(4) 不登校（年間30日以上欠席）の児童生徒数は、小学校で9人、中学校で25人であった。不登校の理由は個別の事案ごとに様々である。関係機関と連携して対応する事案については、子ども相談・支援室が参加するケース会議を開催し、継続的な支援を行っている。</p> <p>※ 前年度件数：小学校6人、中学校11人</p> <p>(5) 暴力行為は、小学校で20件、中学校で31件発生した。件数が増加した理由としては、同じ児童生徒が繰り返し暴力行為を行ったことのほか、言葉によるコミュニケーションを苦手とする児童生徒が、他者の言動に対して感情的になり、暴力行為に直結してしまうことが挙げられる。</p> <p>※ 前年度件数：小学校2件、中学校10件</p> <p>4 子育て科創設事業</p> <p>子育て科の実施率100%（目標値：100%）</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 生きる力を持った子ども育成事業</p> <p>トラブルを起こしやすい児童生徒に対しては、保護者、学校、関係機関及び地域が協力し、なるべく早いうちから支援に入ることができる体制づくりに努める。</p> <p>2 スクールガードリーダー設置事業</p> <p>「自分の身は自分で守る」をモットーに、避難訓練、危険予知トレーニング学習等をスクールガードリーダーと学校が協力して実施する。</p> <p>3 子ども相談・支援室事業</p> <p>(1) いじめについては、子ども相談・支援室が各校のいじめ対策会議に参加する等、関係機関と連携を図り、いじめの未然防止に努める。</p> <p>(2) 不登校については、萩輝きスクールに円滑につなぐため、不登校初期から学校、保護者及び関係機関と連携し、支援ができる体制を整える。</p> <p>4 子育て科創設事業</p> <p>事業開始から4年目を終え、学校でも定着しているため、継続して実施する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、不登校及び暴力行為は、家庭環境や親の接し方に原因があることが多いと思う。子育てのトラブル等にどのように対応すべきかを親に教える場を作り、親を教育することで、発生件数の減少につながられるのではないかと。 ・SNSやメッセージアプリに起因したいじめ等についても、親が使用に関するルールを決め、責任を持って管理すべきだが、そのためにも、親がどうすべきか知る機会を作る必要がある。 ・子どもの問題行動に対しては、子どもがトラブルを親に相談できるような家庭環境を整えるためにも、家庭に対してのサポートが必要であると思う。

- ・不登校の児童生徒数が増加しているが、家庭環境に起因するものだけでなく、子どもの特性と学校環境が合わないことによるものもあると思う。児童生徒の個性を伸ばし、共助による学力の向上を図るなど、学校での時間がストレスになるのではなく、自分の未来を切りひらくための学びの場であることを理解し、学習に取り組めるよう導くことが大切である。
- ・学校での教職員による厳しい対応が精神的な負担となり、児童生徒が家庭から出られなくなるケースもあるため、デリケートな児童生徒及び多忙な教職員へのケアも重要である。

項目	健やかな体の育成	担当課	学校教育課
目的・目標	学校、家庭及び地域が連携し、子どもの発育段階に応じた基礎体力の向上、望ましい生活習慣の形成を図り、健やかな体づくりを推進する。		
実施状況・成果	<p>1 一校一取組推進事業 年間を通じ、毎週決まった曜日・時間に運動を実施する学校の割合49%（目標値：100%）</p> <p>2 保健推進事業 (1) 児童生徒の95%以上が朝食を食べる学校の割合76%（目標値：100%） (2) 生活習慣のチェック及び改善を保護者と共に実施する学校の割合100%（目標値：100%）</p> <p>3 食育推進事業 (1) 担任、栄養教諭、栄養士及び養護教諭とのチーム・ティーチングによる食育指導を実施し、バランスよく食べることの重要性を指導した。 チーム・ティーチングによる食育指導を実施した学校の割合100%（目標値：100%） (2) 地域の特色を生かした献立「萩まるごと食べちゃろうデー」を年9回実施</p>		
今後の取組	<p>1 一校一取組推進事業 今後も継続することで、適切な運動量の確保による基礎体力の向上を目指す。</p> <p>2 保健推進事業 生活チェックを継続して行うことで、望ましい生活習慣づくりを支援するとともに、家庭や地域と連携し、健康な体づくりへの意識向上を図る。また、先進事例等を周知し、取組の普及を図る。</p> <p>3 食育推進事業 引き続き、チーム・ティーチングによる食育指導を実施するとともに、朝食をとらないことが常態化している児童生徒については、個別に指導・対応を行う。</p>		
学識経験者の意見	<p>・朝食に関するアンケートの結果では、親が朝食を用意しない家庭が数件あった。夜更かしや間食といった生活習慣によって朝食を取らない子どもへの生活習慣の改善指導と併せ、家庭に対しても朝食を作るよう、親にうまく働きかけを行ってほしい。</p>		

項目	地域コミュニティの核としての学校づくり	担当課	学校教育課
目的・目標	コミュニティ・スクールを核として、地域や保護者が連携・協働し、地域ぐるみで子どもの学びや育ちを支える取組を推進するとともに、地域に開かれ、地域に貢献する学校づくりを目指す。		
実施状況・成果	<p>1 コミュニティ・スクール推進事業</p> <p>(1) 学校運営協議会の設置率100%（目標値：100%）</p> <p>全小中学校に学校運営協議会が設置されてから3年目となり、学校教育活動及び学校運営に対する地域住民の理解が深まり、ボランティア等による学校運営への協力・支援が広がっている。</p> <p>地域の行事への参加・協力により、児童生徒の地域貢献活動を進める等、地域と協働する取組を行う学校が増えている。</p> <p>(2) 中学校区で小中合同学校運営協議会を設置する学校が徐々に増加している。</p> <p>児童生徒が参加する「熟議」を開催し、地域協育ネットと連携した取組へと発展させている事例もある。</p> <p>2 開かれた学校づくり事業</p> <p>(1) ホームページを運営する学校100%（目標値：100%）</p> <p>ホームページに公開しているコミュニティ・スクールの情報等を契機に、他県から視察の申込みが多く寄せられており、本市の先進的な取組が評価されている。このほか、小中一貫教育校に係る情報についても積極的に発信し、本市の取組の周知に努めている。</p> <p>(2) 学校評価を公表する学校の割合100%（目標値：100%）</p> <p>学校評価の公表が全校で実施されており、学校関係者にも評価項目が周知され、定着している。また、当該評価項目に、学校運営協議会で協議された内容等を加えることにより、学校運営協議会と連携したPDCAサイクルが定着しつつある。</p>		
今後の取組	<p>1 コミュニティ・スクール推進事業</p> <p>業務改善の視点を取り入れた取組により、コミュニティ・スクールの推進から生じる多忙感を覚える管理職や教職員は少ない。一方、事業の効果を実感している学校は多く、引き続き事業の推進及び業務改善に努める。</p> <p>2 開かれた学校づくり事業</p> <p>(1) ホームページの充実を図るとともに、萩市広報課、山口県教育委員会等を通</p>		

	<p>じた報道機関等への情報発信を促進する。</p> <p>(2) 学校評価については、校区内の小学校と中学校で、共通の評価項目を設けるよう働きかける。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティ・スクールを通じて、子どもたちが地域行事に以前より多く参加するようになるなど、地域住民が子どもたちと関わる機会が増えた。これを維持していくことで、地域にも根付いていくと思う。今後、教員の負担や地元の協力がうまく得られないなどの問題点が出てくることもあると思うが、良い事業であるので、継続していけるよう取り組んでほしい。 • コミュニティ・スクール同士が情報交換できる場や機会ができると良いと思う。

項目	教育の専門家としての教師の育成	担当課	学校教育課
目的・目標	初任者、2年次～4年次、ミドルリーダー等、教員それぞれのキャリアステージに応じて、基礎的・基本的な研修から専門的な研修までを実施することで、個々の教員の資質及び能力の向上を図る。		
実施状況・成果	<p>1 キャリアステージに応じた教職員研修事業</p> <p>(1) はぎ人材育成1,000日プランの実施</p> <p>対象教員（初任者～4年次）の在籍校のうち1,000日プランを実施する学校の割合100%（目標値：100%）</p> <p>全対象教員52名が1,000日プランを作成し、当該プラン及び実施状況を人材育成会議で共有することにより、全校体制で人材育成を推進した。</p> <p>1,000日プラン担当者会議を開催し、各校の人材育成担当者により、対象教員の成長及び課題の共有並びに指導方針の協議を行った。</p> <p>(2) 萩塾の実施</p> <p>学習指導、道德教育等の各分野のスペシャリストによる実践事例発表、ワークショップ型研修等実効性のある研修を実施した。</p>		
今後の取組	<p>1 キャリアステージに応じた教職員研修事業</p> <p>(1) 市内の全学校が、はぎ人材育成1,000日プランや各学校の校内研修の計画を共有し、教職員研修の活性化を図る。</p> <p>(2) 山口県教育委員会が作成する「山口県教員人材育成指標」を活用し、各学校におけるキャリアステージに応じた人材育成を推進する。</p>		
学識経験者の意見	<p>・若手教員の研修については、授業の構成や進め方、トラブルが発生した際の対応等、若手教員が悩みを抱えやすいポイントに注力して実施しているということであったが、1,000日プランの対象外の教員であっても、子どもへの対応や授業の内容に難点を抱える教員がいると思われるので、そういった教員に対しても、能力向上を図る研修を実施する必要性を感じる。</p>		

項目	特色ある学校づくりの推進	担当課	学校教育課																				
目的・目標	地域や学校の特色を鮮明にした教育の実現に向けて、特色ある教育活動推進拠点校（コアスクール）を設定し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進する。																						
実施状況・成果	<p>1 特色ある教育活動推進拠点校構想事業</p> <p>(1) コアスクールの設定率100%（目標値：100%）</p> <p>(2) コアスクールの取組</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 松陰教学</td> <td style="text-align: center;">2校</td> <td>⑥ コミュニティ・スクール</td> <td style="text-align: center;">4校</td> </tr> <tr> <td>② ふるさと学習</td> <td style="text-align: center;">12校</td> <td>⑦ 地域との連携</td> <td style="text-align: center;">11校</td> </tr> <tr> <td>③ 小中一貫教育</td> <td style="text-align: center;">5校</td> <td>⑧ 保小中連携教育</td> <td style="text-align: center;">3校</td> </tr> <tr> <td>④ キャリア教育</td> <td style="text-align: center;">5校</td> <td>⑨ 伝統文化の継承</td> <td style="text-align: center;">2校</td> </tr> <tr> <td>⑤ 農業・林業体験学習</td> <td style="text-align: center;">2校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 重複学校有り</p> <p>(3) 地域を学習の場として地域人材を活用した教育活動を展開し、地域の歴史、自然、産業等を継承・発展させる心情を育む取組を実施した。</p> <p>① 明倫小学校・椿東小学校 松陰教学及び松下村塾の志を取り入れた教育</p> <p>② 大島小中学校 萩大島ふるさと創造科を基軸としたキャリア教育</p> <p>③ むつみ小学校 コミュニティ・スクールの仕組みを生かした農業体験学習</p> <p>④ むつみ中学校 豊かな森林資源を活用した体験学習</p> <p>⑤ 川上小中学校 阿武川学習を通じた教育の推進</p> <p>(4) 学校の規模、立地条件等を活用し、小中学校で一貫した教育活動を展開し、幼児・児童・生徒間及び地域とのつながりを深めた。</p> <p>① 三見小中学校・大井小中学校・大島小中学校・相島小中学校・見島小中学校・福栄小中学校 小中一貫教育の推進</p> <p>② 川上小中学校・越ヶ浜小中学校 保小中連携教育の推進</p>			① 松陰教学	2校	⑥ コミュニティ・スクール	4校	② ふるさと学習	12校	⑦ 地域との連携	11校	③ 小中一貫教育	5校	⑧ 保小中連携教育	3校	④ キャリア教育	5校	⑨ 伝統文化の継承	2校	⑤ 農業・林業体験学習	2校		
① 松陰教学	2校	⑥ コミュニティ・スクール	4校																				
② ふるさと学習	12校	⑦ 地域との連携	11校																				
③ 小中一貫教育	5校	⑧ 保小中連携教育	3校																				
④ キャリア教育	5校	⑨ 伝統文化の継承	2校																				
⑤ 農業・林業体験学習	2校																						

<p>今後の取組</p>	<p>1 特色ある教育活動推進拠点校構想事業</p> <p>萩市ひとづくり構想に基づいた人材育成を進めていくとともに、地域の特色を生かした教育の実現に向け、全小中学校区で小中一貫教育を推進する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での一貫した教育活動を通じ、児童生徒の交流により、中学生に年少者への思いやりが芽生えるなど、当該事業が心の教育としても生かされているという事は、良いことだと思う。小学校と中学校が同じ敷地内にある学校では、交流事業が実施しやすいと思うが、そうでない学校でも児童生徒同士が関わり合うような取組ができると良いと思う。

項目	教育環境の整備	担当課	教育政策課
目的・目標	計画的な学校施設の整備、情報化の進展に対応した機器整備等を実施し、安全で質の高い教育環境の整備及び充実を図る。また、中学生が地元の高校に進学しやすい環境を整え、地元高校への進学率の向上を目指す。		
実施状況・成果	<p>1 学校施設整備事業</p> <p>(1) ブロック塀解体撤去事業等</p> <p>大阪北部地震の際のブロック塀倒壊による児童の死亡事故を受け、学校のブロック塀等の緊急安全点検を実施し、建築基準法に適合しないブロック塀の撤去を実施した。</p> <p>① 椿東小学校……正門ブロック塀解体工事</p> <p>② 育英小学校……プール出入口ブロック塀解体撤去</p> <p>③ 弥富小学校……プールブロック塀解体撤去工事、プールフェンス設置工事</p> <p>④ 萩東中学校……プール横、バックネット裏境界ブロック塀解体撤去工事</p> <p>(2) 空調設備設置事業</p> <p>児童生徒の熱中症対策として、国の冷房設備対応臨時特例交付金を活用し、全小中学校の普通教室等に空調設備設置事業を実施した。工事については、令和元年度に完成予定である。</p> <p>① 小中学校空調設備設置工事（普通教室へ設置）……空調設備設計業務</p> <p>② 椿西小学校……特別支援教室空調機設置工事</p> <p>③ 多磨小学校……特別支援教室空調機設置工事</p> <p>④ 田万川中学校……ランチルーム空調機設置工事</p> <p>⑤ むつみ中学校……保健室空調機設置工事</p> <p>(3) トイレの洋式化事業</p> <p>避難所、児童クラブ、コミュニティ・スクール、スポーツの場等、地域住民や高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦等の特別な配慮が必要な方々のため、トイレの洋式化を進め、快適な教育環境の整備を推進した。</p> <p>① 相島小中学校……洋式トイレ改修工事（和式13基→洋式11基）</p> <p>(4) その他の施設整備事業</p> <p>① 椿西小学校……屋内運動場他外壁塗装工事</p> <p>② 萩西中学校……給食室給水管敷設工事、屋根防水改修工事</p> <p>③ 田万川中学校……音楽準備室雨漏り補修工事</p>		

	<p>④ むつみ中学校……高圧気中開閉器外改修工事</p> <p>⑤ 須佐中学校……屋内運動場LED照明改修工事</p> <p>⑥ 福栄小中学校……中開閉器外改修工事</p> <p>2 コンピューター整備事業</p> <p>平成29年度までに無線LAN及びタブレット型コンピューターの整備が完了し、平成30年度からは、教職員用のパソコンの更新を実施している。</p> <p>3 安心安全な学校給食提供事業</p> <p>県産食材使用率70.7%（目標値：70%）</p> <p>食育及び地産地消の推進を図るため、萩産の食材を活用する「萩まるごと食べちゃろうデー」及び「県産食材100%献立」を実施した。</p> <p>4 地元の高校へ進学しやすい環境整備事業</p> <p>地元高校への進学率72.6%（目標値：80%）</p> <p>地元の高校に遠距離通学する高校生を対象とした列車・バス定期代の一部助成のほか、離島等に居住する通学困難な女子高校生を対象とした女子寮の運営等、地元の高校への進学を支援する事業を実施した。</p>
今後の取組	<p>1 学校施設整備事業</p> <p>「安全で快適な教育環境整備事業」として特別教室等への空調設備の整備、障がい者、性的マイノリティの子ども達等への配慮として洋式トイレの整備を実施するほか、LED照明への転換を行い、教育環境の整備を図る。</p> <p>2 コンピューター整備事業</p> <p>引き続き教職員用のパソコンの更新を進め、教育環境の改善を図る。</p> <p>3 安心安全な学校給食提供事業</p> <p>産地情報交換会を毎月行い、引き続き「萩まるごと食べちゃろうデー」を実施する等、地元産食材の使用に努める。</p> <p>4 地元の高校へ進学しやすい環境整備事業</p> <p>高校魅力化プロジェクト会議により、中学校、高校及び教育委員会の連携強化を図るとともに、高校の魅力化に向けた取組を検討する。広報はぎ等で高校の情報発信を行い、中学生が市内の高校へ進学したいと思う環境づくりを推進する。</p>
学識経験者の意見	<p>・最近では、子どもが和式や自動洗浄でないトイレの使い方を知らないこともあると聞く。また、トイレの洋式化が進んでいく中で、しゃがむ・立つという機会が減り、子どもたちの柔軟性や体力が低下していることを心配している。熱中症対策としての空調の整備とは違い、トイレについては、学校に行けば和式のトイレもあり、使い方を覚える機会にするといいと思う。小中学校の間は、何</p>

もかも準備されているという環境を与えすぎることも考えものだと思う。

- 県産食材100%献立等の実施に当たっては、子どもたちに食材の生産のことが分かるような指導を併せて実施すると良いのではないか。また、多くの学校で同時に開催すると、生産者側は大量の食材の提供が困難となることもあるため、実施時期等は検討してほしい。
- 市内高等学校の進学率向上を図る施策として、A I、I C T等を活用した遠隔授業等の取組があれば、魅力化につながるのではないか。また、市内の高等学校が連携し、普通科の高校に通いながら、自分の関心のある商業や工業の授業を受けられるといった高校間の仕組みができれば、萩市内の高校を選択する動機付けになるのではないか。

項目	生涯学習の基礎づくり	担当課	文化・生涯学習課
目的・目標	生涯にわたる学習活動の基礎を身につけるため、幼児期から高齢期までの各時期に応じ、教養、趣味、文化、芸術、スポーツ等による生活の質の向上を図るとともに、自己実現のための学習内容及び学習方法を自ら選択し、自分にふさわしい学習活動が積極的に実施できるよう、市民と行政が協働した取組を推進する。		
実施状況・成果	<p>1 家庭教育支援基盤形成事業</p> <p>保育園及び各小中学校の参観日、就学時検診等を活用した子育て講座及び公民館等における未就園児とその保護者を対象とした親学講座の実施により、子育てに係る悩みの解消を図る等、家庭での子育てを支援した。</p> <p>開催実績 ① 子育て講座 51回 延べ1,624人参加 ② 親学講座 19回 延べ384人参加</p> <p>2 生涯学習推進事業</p> <p>ニーズに合った学習機会の提供及び青少年教育団体、生涯学習推進団体等への支援により、学習機会の充実を図った。</p> <p>(1) 市民大学教養講座開催事業</p> <p>① 山中伸弥氏「私の修行時代」～未来を切り拓く力とは～ 入場者900人 ② 高橋尚子氏「走り続ける中で」 入場者700人</p> <p>(2) 成人式開催事業 出席者344人</p> <p>(3) 萩子ども情報センター協議会補助事業</p> <p>乳幼児から中学生までの子ども及び保護者を対象とした子育て等に係る様々な情報を提供する情報誌の発行を行った。年6回5,800部発行</p> <p>(4) 萩子どもセンター補助事業</p> <p>実績 ① 子どもの諸活動支援事業 72回延べ3,188人参加 ② 子育て支援事業 67回延べ1,388人参加 ③ 子どもと文化に関する活動広報紙 16,200部発行</p> <p>(5) 萩ユネスコ協会補助事業</p> <p>実績 ① 平成30年度萩ユネスコ協会総会・文化講演会 ② 萩ユネスコ協会創立70周年記念式典・記念講演会</p> <p>3 萩市美術展開催事業</p> <p>市民の美術作品等を募集・展示する美術展を開催することにより、地域に根ざした文化・芸術活動の推進を図った。</p>		

	<p>実績 出展作品数 小中学生の部 703点、高校・一般の部 73点 招待作家作品展示数 34点 入場者数 1,696人</p> <p>4 文化活動支援事業</p> <p>文化イベントの開催等を支援することにより、市民に多様な文化・芸術に触れる機会を創出し、市民の文化・芸術活動の発展に努めた。</p> <p>実績 ① 吹奏楽による組曲「吉田松陰」 入場者700人 ② 萩市民音楽祭特別公演ウィーン少年合唱団萩公演 入場者920人 ③ 萩・第九演奏会 入場者900人 ④ 萩市民音楽祭 入場者600人</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 家庭教育支援基盤形成事業</p> <p>これまでの取組の実施内容及び成果を踏まえ、子育ての悩み、不安等を抱える保護者が孤立しないよう、事業の更なる充実を図り、引き続き家庭における子育ての支援を行う。</p> <p>2 生涯学習推進事業</p> <p>萩市ひとつくり構想の目指すひとの姿を踏まえ、多様な学習機会の提供による人材育成に努めるとともに、学習成果を発揮できる機会づくりを推進する。</p> <p>3 萩市美術展開催事業</p> <p>引き続き事業を継続し、地域の文化・芸術活動の振興及び普及を図るとともに、美術作品を鑑賞する機会の提供により、市民の文化向上を推進する。また、より多くの市民参加を促すため、事業の周知に努める。</p> <p>4 文化活動支援事業</p> <p>市民団体等による文化イベントの開催等に対する支援を継続して実施することにより、市民が文化・芸術活動に参加する機会又は文化・芸術を鑑賞する機会を創出し、本市の文化・芸術の向上及び普及を推進する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座及び親学講座は、更に注力して実施してもらいたい。 ・家庭の支援に関しては、なかなか相談できず、悩んでいる保護者が多くいると思う。支援の場に参加することが難しい保護者に手を差し伸べ、支援の場につなげられるように取り組んでもらいたい。 ・子育て講座及び親学講座については、参加者の要件を緩和し、働いている人でも参加できる時間に開催するなど、より多くの人に参加できる講座とするのが良いと思う。

項目	生涯学習の場と人づくり	担当課	文化・生涯学習課
目的・目標	<p>交流活動等による青少年の社会性・公共性の育成を目指す青少年の健全育成の推進並びに豊富な知識、経験等を有する個人又は団体の掘起し及び生涯学習推進団体等への支援による生涯学習を支える人材の育成に努める。また、図書館、公民館等の社会教育施設の充実を図ることにより、学習成果の発表の場を作り、市民の生涯学習活動の推進を図る。</p>		
実施状況・成果	<p>1 子ども・若者総合支援事業</p> <p>(1) 子ども・若者総合サポート会議開催事業</p> <p>ニート、ひきこもり、不登校等社会生活を円滑に営む上での困難を有する子どもや若者に対し、地域の関係機関等が連携して総合的かつ効果的な支援を行った。</p> <p>(2) 萩ユースふれあいスペース事業</p> <p>高校進学後やむを得ず中途退学した青少年及び中学卒業後様々な事情により進学できなかった青少年を対象として、コーディネーター5名により、自立に向けた指導・支援を行い、青少年の自発性・社会性を育む居場所づくりを行った。</p> <p>在籍者数 8人</p> <p>2 放課後子ども教室事業</p> <p>「地域の子どもは地域で育てる」を目標に、放課後又は休日に放課後子ども教室を開催し、安心・安全な居場所づくりを推進した。</p> <p>開催実績 22教室1,097回 延べ9,483人参加</p> <p>3 萩地域青少年育成市民会議補助事業</p> <p>家庭の日、子ども110番等ののぼり旗の作成・掲示による啓発、有害図書類等の追放のための市内店舗の巡回点検の実施等により、青少年の健全育成に望ましい環境の整備に努めた。</p> <p>活動実績 ① こども110番の家(車)設置活動 594箇所</p> <p>② 家庭の日普及啓発活動 毎月第3日曜日開催</p> <p>③ 青少年にとって好ましくない環境の浄化活動の推進 7月7日に、商店街、カラオケボックス、レンタルビデオ店、書店等の巡回を実施</p> <p>4 公民館・コミュニティ施設改修、整備事業</p> <p>各地域の公民館及びコミュニティ施設の修繕、改修及び整備を実施し、生涯学習</p>		

	<p>活動等による学習成果の発表の場の環境整備を行った。</p> <p>(1) 各地域の公民館等の修繕・改修</p> <p>① 三見公民館……空調設備改修工事、設計監理業務</p> <p>② 大島公民館……男子トイレ改修工事</p> <p>③ 川上公民館……1階トイレ改修工事</p> <p>④ むつみコミュニティセンター……浴槽ろ過機不具合修繕</p> <p>⑤ 須佐公民館……空調設備改修工事、設計監理業務</p> <p>⑥ 弥富交流促進センター……棟のし瓦葺替修繕等</p> <p>⑦ 旭活性化センター……LED化改修工事等</p> <p>(2) 福栄コミュニティセンター整備事業</p> <p>老朽化が著しく、耐震性が確保されていない福栄コミュニティセンター及び福栄総合事務所について、両施設を合築して、既存の福栄保健センターに増築整備するための実施設計等を行った。</p> <p>(3) 大井公民館整備事業</p> <p>旧大井小学校グラウンドに芝苗の植付けを実施した。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 子ども・若者総合支援事業</p> <p>困難を抱える子どもや若者が、就学、就業等を行い、自立した社会生活を営むことができるよう、各関係機関が連携し、切れ目のない継続的な支援を推進する。</p> <p>2 放課後子ども教室事業</p> <p>全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができるよう、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型の計画的な整備等を推進する。</p> <p>3 萩地域青少年育成市民会議補助事業</p> <p>家庭、学校、職場及び地域社会の役割分担と相互協力により、強力な青少年育成市民運動を展開し、青少年の健全育成を推進する。</p> <p>4 公民館・コミュニティ施設改修、整備事業</p> <p>各公民館及びコミュニティ施設の点検を実施し、改修を行うことにより施設の延命化を図る等、適切な施設管理を引き続き実施する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>・施設の改修に当たっては、2階への移動がしやすいようにしてほしい等、高齢者をはじめとした利用者の意見も聞きながら、使いやすい施設となるよう進めていただきたい。</p>

項目	生涯学習によるまちづくり	担当課	文化・生涯学習課
目的・目標	地域の歴史、文化、諸課題について、市民が自ら学習し、理解し、まちづくりに参加する機運を醸成・向上するため、地域は地域住民自ら守るという意識のもと、公民館を拠点に、住民と行政が協働し、生涯学習によるまちづくりを推進する。		
実施状況・成果	<p>1 生涯学習運営体制の整備・充実</p> <p>(1) 社会教育委員会議等の開催 官民協働の生涯学習の推進のため、社会教育委員会議等を開催し、課題、解決策等について協議し、生涯学習の推進に努めた。</p> <p>(2) 公民館管理運営事業 全16館の公民館に民間の館長を登用しているほか、地域住民からなる公民館運営審議会を組織し、公民館における各種事業の企画運営について審議する等、住民と行政が意見を交えながら生涯学習を推進する体制を整備し、積極的な活動を実施している。</p> <p>2 萩地域コミュニティ補助事業 地域の課題を解決するため、各地域コミュニティ組織の充実及び組織への住民参画を推進するとともに、その活動の支援を行った。</p> <p>補助実績 ① 子ども会育成連絡協議会 萩地子連球技大会、たこづくり教室、たこあげ大会等の開催</p> <p>② 萩市連合婦人会 萩市連合婦人会総会、萩市連合婦人会・阿武町婦人会合同会員研修会の開催</p> <p>3 地域協育ネットの推進 概ね中学校区を単位として、幼児期から中学校卒業程度までの子どもの育成・学習を地域ぐるみで見守り、支援するための地域協育ネットを構築し、家庭・学校・地域が連携して子どもを育てることにより、子どものふるさとへの愛着を深めるとともに、地域住民の生きがいとなるよう、活動の推進に努めた。</p> <p>開催実績 ① 萩東中学校区：夏柑ネット協議会 2回延べ90人参加 ② 萩西中学校区：萩しらかべネット協議会 2回延べ53人参加 ③ 越ヶ浜中学校区：かさやまネット協議会 2回延べ115人参加</p>		
今後の取組	1 生涯学習運営体制の整備・充実 引き続き公民館の公設民営化の検討を行い、市民との協働による公民館の運営並		

	<p>びに活動の充実及び推進を図りながら、地域づくりに貢献する。</p> <p>2 萩地域コミュニティ補助事業</p> <p>引き続き地域コミュニティ組織の活動を支援する。子ども会育成団体の相互の連絡調整及び活動の充実を図り、心身ともに健全な少年の育成に努めるとともに、市内単位の婦人会相互の連絡調整を図り、女性の教養活動を支援し、住みよい地域づくりを推進する。</p> <p>3 地域協育ネットの推進</p> <p>地域協育ネットの仕組みを活用し、様々な団体等と連携・協働し、地域ぐるみで子どもの育成及び学習を支援する取組を推進する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>・地域協育ネットには、コミュニティ・スクールなど、同じような組織が多くあり、分かりにくく感じる。類似した組織を適切なかたちに整理できるよう検討してほしい。</p>

項目	生涯スポーツの推進	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	全ての市民が年齢、体力、興味、関心及び適性に於いて、スポーツを楽しみ、観覧し、スポーツを支える活動に参加できるよう、生涯スポーツ施策の推進に取り組む。		
実施状況・成果	<p>1 スポーツ活動への参加促進</p> <p>スポーツへの市民の興味・関心を高めるため、地域のスポーツ大会を開催する等スポーツに積極的に関わる取組を推進するとともに、スポーツ大会等に係る情報を発信し、スポーツ活動の普及・啓発に努めた。</p> <p>開催実績 ① 萩市長杯高等学校硬式野球大会 市内高等学校2校</p> <p>② 萩市民春季・秋季ソフトボール大会</p> <p>春季大会 1部9チーム 2部13チーム</p> <p>秋季大会 1部9チーム 2部11チーム</p> <p>③ 萩市民春季・秋季バレーボール大会</p> <p>春季大会 6チーム 秋季大会 6チーム</p> <p>④ 萩市民ソフトバレーボール大会 25チーム</p> <p>2 スポーツ活動への支援</p> <p>地域住民の健康増進、地域の活性化等を目的に実施される社会スポーツ団体、地域コミュニティ組織等のスポーツ活動への支援を行った。</p> <p>(1) 各地域が実施するスポーツ大会及び運動会への支援</p> <p>補助実績 スポーツ大会 2件 運動会 3件</p> <p>(2) 萩城下町マラソン大会</p> <p>萩城下町マラソン大会実行委員会が行う大会運営に係る補助を行った。</p> <p>開催実績 3, 438人参加(内約3, 000人が市外からの参加)</p> <p>(3) 萩往還ワンデーウォーク</p> <p>萩往還ワンデーウォーク実行委員会が行うイベント運営に係る補助を行った。</p> <p>開催実績 ① 佐々並コース 556人参加</p> <p>② 明木コース 654人参加</p> <p>(4) 駅伝大会開催への支援</p> <p>開催実績 ① 萩市駅伝競走大会 128チーム参加</p> <p>② むつみ縦走駅伝競走大会 30チーム参加</p> <p>3 生涯スポーツの普及並びに健康及び体力の保持増進</p> <p>健康及び体力の保持増進に関する活動が継続的に実施されるよう、生涯を通じて</p>		

	<p>親しむことができる様々なスポーツ活動の推進に取り組んだ。また、スポーツに関心の無い市民に対し、初心者向けの教室を開催し、生涯スポーツ人口の増加及び市民の健康増進を図った。</p> <p>開催実績 ① 弓道教室 15回開催、各5人参加 ② バドミントン教室 10回開催、各14人参加 ③ 卓球教室 10回開催、各15人参加 ④ カヌー教室 13回開催、延べ170人参加</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 スポーツ活動への参加促進</p> <p>現在開催している地域のスポーツ大会については、参加チームの増加に向け、周知活動に努めるとともに、市民誰もが参加しやすいものとなるよう、参加条件、内容等の見直しを行う。</p> <p>2 スポーツ活動への支援</p> <p>(1) 身近な地域で開催するスポーツ大会及び運動会については、市民の健康増進及び親睦の場として重要な機会であるため、引き続き支援を行うとともに、参加者の増加に向け、周知に取り組む。</p> <p>(2) 萩城下町マラソン大会、萩往還ワンデーウォーク、駅伝大会等のスポーツイベントについては、市外からの参加者も多く、地域の活性化を図る目的においても重要であるため、引き続き開催を支援する。</p> <p>3 生涯スポーツの普及並びに健康及び体力の保持増進</p> <p>現在開催しているスポーツ教室に加え、他の競技に係る教室も実施できるよう、各競技団体の協力を仰ぎながら、調整を行っていく。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>・スポーツの推進事業については、長年の実績のあるスポーツや大会への支援も必要だと思うが、他のスポーツや新たな取組への支援もしっかり行ってほしい。</p>

項目	競技水準の向上及び人材の育成	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	<p>優秀な選手の育成のために、中・長期的な観点から計画的に選手及び指導者の育成等に取り組むとともに、優れた選手及び指導者の活用により、地域の競技水準の向上を目指す。また、指導者やボランティア等、スポーツを支える人材の育成に努める。</p>		
実施状況・成果	<p>1 スポーツ選手・指導者の計画的な育成</p> <p>萩市体育協会やスポーツ少年団等と連携し、指導者の育成及び加盟団体の指導等を実施するとともに、全国大会等に出場する個人及び団体に対して補助を行うことにより、優れた選手等の育成に資する取組を実施した。</p> <p>(1) 萩市体育協会への支援</p> <p>指導者の育成や加盟団体の指導等に係る活動に対して補助を行った。</p> <p>(2) 萩市スポーツ少年団本部への支援</p> <p>市内のスポーツ少年団の取りまとめ、団員及び指導者の育成等に係る活動に対して補助を行った。</p> <p>(3) 全国大会出場者等助成事業</p> <p>補助実績 ① 全国大会出場 個人66人、団体16件 ② 県大会出場 団体15件</p>		
今後の取組	<p>1 スポーツ選手・指導者の計画的な育成</p> <p>競技者及び指導者の育成及びスポーツの振興に資するため、引き続き萩市体育協会、スポーツ少年団、各競技団体等との連携強化及び全国大会等出場者への支援に努める。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体でスポーツに参加する人が増えることが重要なことだと思う。自分に合ったスポーツを見つけるための取組や機会の提供が、今後の事業の中で行われていけば、スポーツ人口の増加、施設の利用の増加にもつながると思う。既存のものへの支援だけでなく、新たな人材発掘という部分にも力を入れると良いと思う。 ・子どもたちへのスポーツの指導に当たっては、指導者の意識付けを行うなど、適切な指導内容となるよう取り組んでほしい。 		

項目	スポーツの推進による地域の活性化	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	地域特性を考慮し、スポーツの有する多様な可能性を活用するとともに、市民が主体となって推進されるスポーツ活動の環境づくりを支援することにより、地域の活性化を促進する。		
実施状況・成果	<p>1 スポーツの推進によるまちづくり</p> <p>本市のスポーツ振興の主要事業である萩城下町マラソン、萩往還ワンデーウォークのほか、競技団体等が実施する大会等に対して支援を行った。また、萩ならではのスポーツイベントを含めたコンベンションの誘致に取り組み、地域の観光資源開発に資するよう努めた。</p> <p>主な補助事業等 カヌージャパンカップ、日隈杯争奪近郷柔道大会、ビーチバレーボール in 萩</p> <p>2 世界大会等キャンプ地誘致推進事業</p> <p>オリンピック競技大会のキャンプ地誘致により、市民のスポーツへの関心・意欲の向上を図るとともに、地域の活性化の促進を目指した。</p> <p>(1) キャンプ地の誘致に向け、日本カヌー連盟等と調整を行った。</p> <p>(2) キャンプ地の誘致活動に合わせ、山口県カヌー協会に委託し、カヌー体験教室を実施した。</p> <p>開催実績 7月から10月まで全10回 延べ114人参加</p> <p>3 施設・設備の充実と利用促進</p> <p>市民のニーズに応じた安全で利用しやすい施設を整備・維持するとともに、老朽化する各地域の社会体育施設を改修する等、市民のスポーツ活動の拠点の保全に努めた。</p> <p>(1) 体育施設改修事業</p> <p>田万川グラウンド高圧受変電設備更新工事</p> <p>(2) 体育施設営繕事業</p> <p>萩市民体育館消防設備・非常用放送設備修理等</p>		
今後の取組	<p>1 スポーツの推進によるまちづくり</p> <p>地域の観光資源の創出、地域におけるスポーツの振興等を図るため、引き続き、各競技団体と連携・協力し、スポーツ大会等の実施を支援する。</p> <p>2 世界大会等キャンプ地誘致推進事業</p> <p>(1) オリンピック競技大会のキャンプ地誘致については、英国等の萩への視察の</p>		

	<p>実現に向け、引き続き日本カヌー連盟等を通じた活動に注力する。</p> <p>(2) キャンプ地誘致に合わせたカヌー体験教室の実施により、地域住民等にカヌー競技が親しまれるよう、周知活動に努める。</p> <p>3 施設・設備の充実と利用促進</p> <p>安全で利用しやすい施設の提供のため、適切な施設の点検業務に努めるとともに、老朽化する施設について、計画的に改修・修繕を実施し、延命化を図る。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の充実という点について、季節を問わず、気軽にプールを使用できる方法を検討できないか。市民プールの開設等施設の整備は難しいと思うが、民間のプールや学校のプール等既存の施設を利用しやすくするなど、子どもの頃から、もっと水に親しめる機会を増やせるような方法を検討してほしい。 ・既存の施設だけでは、子どもから高齢者まで、季節や気温に関わらず気軽に水に親しめる機会が十分に確保されているとは言い難いため、屋根や温水等の設備を備え、使用料等についても利用しやすいプールの整備を検討してほしい。

項目	図書館運営を通じた官民協働及び読書活動の推進	担当課	萩図書館
目的・目標	NPO萩みんなの図書館との協働や地域住民のボランティアの活用により、市民の豊かな知識や経験、技能等を図書館運営に生かした共助による読書活動を推進する。		
実施状況・成果	<p>1 NPO萩みんなの図書館との協働による図書館運営</p> <p>(1) 萩図書館の管理運営事業を協働により実施</p> <p>萩図書館運営実績等 ① 利用者数 89,407人</p> <p>② 貸出点数 294,622点</p> <p>③ レファレンス件数 908件</p> <p>④ 受入蔵書数 10,111冊</p> <p>⑤ NPO職員主催行事 203回</p> <p>⑥ NPO職員主催展示 66回</p> <p>(2) 萩図書館サポート活動事業 会員主催行事 47回</p> <p>2 NPO会員による自主活動</p> <p>環境美化班、読み聞かせ班、イベント班、図書整理班、寄贈本仕分班、歴史関係読書班、喫茶運営班、の～とれ音読班等の自主活動として、図書館まつり、古本市等の開催のほか、門松づくり、イルミネーションの設置等、季節ごとの環境整備等を実施した。</p> <p>喫茶・軽食コーナー「カフェぶらり」は、市民交流の場としての利用が増加している。常設古本コーナー「ブックぶらり」においては、寄贈本の有効活用が図られた。</p> <p>3 レファレンス専門員の活用</p> <p>郷土史、維新史等に関する知識を生かし、レファレンス対応及びミニ郷土史講座「夏の歴史館」の開催を行った。</p> <p>開催実績 レファレンス対応 18件</p> <p>夏の歴史館 6回開催、延べ237人参加</p> <p>4 図書館ボランティアの活用</p> <p>須佐図書館及び明木図書館では地域住民による読み聞かせ等のボランティア活動を実施した。</p>		
今後の取組	<p>1 NPO萩みんなの図書館との協働による図書館運営</p> <p>図書館業務の更なる充実及び効率化を図り、継続して職員の資質向上に努める。</p>		

	<p>2 NPO会員による自主活動 各班での自主活動をより活発化し、図書館運営を支える。</p> <p>3 レファレンス専門員の活用 郷土史及び維新史関係のレファレンス等への対応を行うとともに、ミニ郷土史講座「夏の歴史館」を引き続き開催する。</p> <p>4 図書館ボランティアの活用 地域住民に広く呼びかけ、会員を増やすよう努めるとともに、ボランティアによる自主的な行事の開催を進める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用した際には、蔵書に偏りがあるように感じたが、図書館の特色ということで、郷土史や維新史に係る書籍、焼き物や浮世絵に係る書籍については、力を入れて収集しているとのことであった。蔵書収集の意図は分かるが、子どもの幅広い視野を養うためにも、歴史等の書籍に偏ることなく、科学、文学、算数等様々な分野の蔵書の収集にも注力してほしい。

項目	家庭・地域・学校・図書館での子どもの読書活動の推進	担当課	萩図書館
目的・目標	家庭、地域、学校及び図書館の役割の明確化並びに当該役割に応じた主体的な取組の推進を図るとともに、相互連携のためのネットワークの構築を行う。		
実施状況・成果	<p>1 家庭・地域での読書活動推進</p> <p>(1) ネットワーク化によるサービスの推進</p> <p>市内3図書館の資料の通送便を活用したサービスの提供</p> <p>(2) 乳幼児健診での読書案内及びハローブック事業の啓発</p> <p>(3) 移動図書館車による保育園等への巡回及び読み聞かせの実施</p> <p>2 学校での読書活動推進</p> <p>(1) 団体貸出の実施</p> <p>貸出実績 ① 萩図書館 19校 6,251点</p> <p>② 須佐図書館 5校 1,737点</p> <p>③ 明木図書館 3校 1,023点</p> <p>(2) 小学校及び中学校に対する調べ学習用資料の貸出</p> <p>(3) 移動図書館車の学校への巡回、読み聞かせ及び出前講座の実施による読書の推進</p> <p>移動図書館巡回実績 ① 萩図書館 15校 貸出6,632冊</p> <p>② 須佐図書館 5校 貸出4,501冊</p> <p>読み聞かせ開催実績 ① 須佐図書館 1校 26回</p> <p>② 明木図書館 2校 10回</p> <p>出前講座開催実績 ① 萩図書館 2校 2回</p> <p>② 須佐図書館 1校 1回</p> <p>3 図書館での読書活動推進</p> <p>(1) おはなし会、子ども向け行事等の開催</p> <p>開催実績 ① 萩図書館 178回 延べ2,450人参加</p> <p>② 須佐図書館 24回 延べ239人参加</p> <p>③ 明木図書館 99回 延べ1,058人参加</p> <p>(2) 読書通帳の活用</p> <p>読書通帳発行部数 年間279冊</p>		

<p>今後の取組</p>	<p>1 家庭・地域での読書活動推進</p> <p>(1) 萩図書館、須佐図書館及び明木図書館のネットワーク強化により、効率よく資料提供できるよう努める。</p> <p>(2) 移動図書館及び乳幼児健診等での読書案内、おはなし会等、館外での読書啓発を継続して実施する。</p> <p>2 学校での読書活動推進</p> <p>新たに小学校に向けた单元ごとの調べ学習用図書の貸出を始めるとともに、出前講座の実施等、学校支援の更なる充実を図る。</p> <p>3 図書館での読書活動推進</p> <p>(1) 図書館行事又はテーマに沿った図書展示等を継続して行い、子どもの読書活動推進に努める。</p> <p>(2) 読書通帳を活用した読書啓発に努める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でのブックトーク等の出前講座の実施については、需要の掘起しのためにも教員に実際に見てもらえる機会を作るなど、PRの方法を検討する必要がある。 ・学校で行ったブックトークを図書館で実施できると良いと思う。不特定多数を相手に開催する方法に馴染まないということなので、日によって対象者やジャンルを変える等、良い実施方法がないか検討してほしい。

項目	子どもの読書活動推進のための環境整備及び推進者への支援	担当課	萩図書館
目的・目標	子どもに読書の習慣をつけさせるとともに、知識及び想像力を養うため、資料の充実及び施設等の整備を推進する。また、読書活動を支援する専門的職員の資質向上及び学校等で活動する読書ボランティアへの支援を図る。		
実施状況・成果	<p>1 蔵書の充実</p> <p>子どもの発達段階に応じた乳幼児コーナー、児童コーナー及びティーンズコーナー並びに外国語を母国語とする子どものための外国語図書コーナーを設置する等、蔵書の充実を図っている。</p> <p>児童図書の受入数 ① 萩図書館 1,632点 ② 須佐図書館 360点 ③ 明木図書館 278点</p> <p>2 特集展示の充実 実施回数 64回</p> <p>3 電子図書の充実及び利用促進</p> <p>パソコン、スマートフォン、タブレット端末等で閲覧することができる3D図鑑、動く絵本のほか、児童生徒の調べ学習に役立つコンテンツの充実を図り、利用促進に努めた。</p> <p>電子図書利用実績等 ① 所蔵数 3,175点 ② 貸出数 1,945回 ③ 閲覧数 2,296回</p> <p>4 読書に障がいのある子どもへのサービス</p> <p>点字図書、音声図書、拡大文字図書、LLブック、布の絵本、マルチメディアデジタル図書等（以下「点字図書等」という。）を備え、障がいのある子どもに対応できる読書環境の整備を行っているが、周知不足のため、利用数は伸びなかった。</p> <p>5 読書活動ボランティアの活動支援</p> <p>子ども読書活動推進委員会を開催し、萩市内の読書活動団体、学校図書館支援員等の活動状況等を報告し、情報交換を行った。</p> <p>6 図書館職員の資質向上</p> <p>研修等に参加し、子どもと本を結びつける技術の向上に努めた。</p> <p>研修参加実績 ① 外部研修への参加 21回 ② 館内研修の実施 18回</p>		

<p>今後の取組</p>	<p>1 蔵書の充実</p> <p>子どもの幅広い知的要求及び子ども読書活動推進者の要望に応えるため、蔵書の一層の充実に努める。</p> <p>2 特集展示の充実</p> <p>子どもたちの関心をひく特集コーナー作りに努める。</p> <p>3 電子図書の充実及び利用促進</p> <p>図書館のイベントの際に電子図書の体験コーナーを設置する等、利用促進に努める。</p> <p>4 読書に障がいのある子どもへのサービス</p> <p>点字図書等の資料の充実とサービスの周知に努める。</p> <p>5 読書活動ボランティアの活動支援</p> <p>萩市内の読書活動団体及び学校図書館支援員との連携強化を図るとともに、研修会等の開催による資質向上及び人材育成に努める。</p> <p>6 図書館職員の資質向上</p> <p>山口県立図書館等が実施する外部研修等に積極的に参加し、子どもと本を結びつける技術の向上に一層努める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、タブレット等を使用した電子書籍の貸出など、図書館の様々な取組をしっかりと周知し、情報発信に努めてほしい。 ・職員の研修内容については、大変努力されていると思う。一方で、個人的に図書館を利用した際の職員の対応は様々である。職員全体として、詳しい情報提供や読書のきっかけとなるような説明ができるよう更に取り組んでいければ良いと思う。

項目	読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動	担当課	萩図書館
目的・目標	読書の意義及び重要性について、関係機関と連携を図りながら、講演会、イベント、図書館見学、職場体験等の実施を通じ、市民の理解及び関心の醸成を図る啓発活動を進める。		
実施状況・成果	<p>1 関係機関との連携</p> <p>関係機関との連携事業及び行政職員への積極的な情報提供の実施</p> <p>(1) 関係機関と連携して事業を実施</p> <p>連携機関 至誠館大学、児童館、税務署、児童クラブ、NPO法人読書普及協力チーム山口</p> <p>(2) 行政職員へ毎月新刊情報を提供</p> <p>2 図書館見学及び職場体験の受入れ</p> <p>小学生の図書館見学及び中学生等の職場体験の受入れを実施</p> <p>受入実績 ① 萩図書館 見学1回、職場体験20人</p> <p>② 須佐図書館 見学6回、職場体験1人</p> <p>③ 明木図書館 見学5回</p> <p>3 啓発・広報活動の推進</p> <p>読書活動及びイベントに関する情報をホームページ、地域メディア等を利用して発信するとともに、イベント等の開催を通して、読書活動の推進の広報に努めた。</p>		
今後の取組	<p>1 関係機関との連携</p> <p>引き続き関係機関との連携により、幅広い図書館活動を展開し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした事業を行う。</p> <p>2 図書館見学及び職場体験の受入れ</p> <p>図書館見学及び職場体験の受入れによる図書館利用のきっかけ作りを支援する。</p> <p>3 啓発・広報活動の推進</p> <p>読書活動及びイベントに関する情報を積極的に発信し、関係機関、団体等への情報提供に努める。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・周知の方法が今後の課題だと思う。良い取組が多くあるので、しっかり周知してほしい。現行のブログだけではなく、SNS等を活用すれば、費用をかけず書籍の情報や取組の周知ができるのではないかな。 ・新たに点検・評価の項目となった事項全般にわたることだが、項目立ての仕方について、なお検討の余地があると思うので、改善されたい。 		